

発行：2024年10月12日

(対象期間：第30期【2023年10月1日～2024年9月30日】)

# エコアクション21環境経営レポート



株式会社 美 商

< 本社 >

421 - 0301 静岡県榛原郡吉田町住吉5309-1

TEL: 0548-33-9605

FAX : 0548-33-9609

# 目 次

・ 組織の概要	.....	1 , 2
・ 実施体制	.....	3
・ 環境経営方針	.....	4
・ 環境経営目標	.....	5
・ 環境経営計画	.....	6
・ 活動期間の目標達成状況および評価(実績)	.....	7 , 8
環境経営計画の取組状況の評価と次年度の取組内容	.....	9
・ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	.....	10
・ 環境上の緊急事態への準備及び対応	.....	11
・ 代表者による全体評価と見直し	.....	11

# . 組織の概要

1. 会社名 株式会社美商
2. 代表者名 代表取締役 三輪兼巳
3. 所在地(本社) 〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉5309-1  
(吉田営業所) 〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉5378-1
4. 設立年 1973年(昭和48年)12月1 日
5. 資本金 1,000万円
6. 事業内容 総合解体業、一般および産業廃棄物収集運搬業

## 7. 事業規模

	単位	第26期 (2019年度)	第27期 (2020年度)	第28期 (2021年度)	第29期 (2022年度)	第30期 (2023年度)
売上高	百万円	640	598	596	630	740
従業員数	人	23	24	27	27	27
受託した一般廃棄物処理量	t	-	-	16	16	16
受託した産業廃棄物処理量	t	7,188	9,050	8,806	9,506	6,143

## 8. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 三輪 千晶  
 連絡先 TEL:0548-33-9605  
 FAX:0548-33-9609  
 E-Mail:info@bisho-gw.co.jp

9. 各種許可内容など

事業の区分	許可者	許可番号	取得年月日	有効年月日	取扱品目
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	第02201040406号	2021年(令和3)年6月4日	2026年(令和8年)6月3日	廃プラスチック類 1、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 1 2、がれき類 1、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣
	神奈川県	第01400040406号	2023年(令和5年)10月29日	2028年(令和10年)10月28日	廃プラスチック類 1、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 1 2、がれき類 1、紙くず、木くず、繊維くず
特定管理産業廃棄物収集運搬業	静岡県	第02251040406号	2024年(令和6年)4月18日	2029年(令和11年)4月17日	特定有害廃石綿等
	愛知県	第02350040406号	2024年(令和6年)4月15日	2029年(令和11年)4月14日	特定有害廃石綿等
	神奈川県	第01450040406号	2020年(令和2年)1月6日	2025年(令和7年)1月5日	特定有害廃石綿等
一般廃棄物	吉田町	第3-19号	2024年(令和6年)3月16日	2025年(令和8年)3月31日	家庭系一般廃棄物(多量ごみ、粗大ごみに限る。)事業系一般廃棄物
	牧之原市	第30-11号	2023年(令和5年)3月12日	2025年(令和7年)3月31日	可燃ごみ類、金物類、ガラス類、ペットボトル類(感染性でないものに限る。)

<備考>

- 1 石綿含有廃棄物を含む。
- 2 水銀使用製品産業廃棄物を含む。 3水銀含有ばいじん等を含む。

10. 産業廃棄物等の収集運搬量

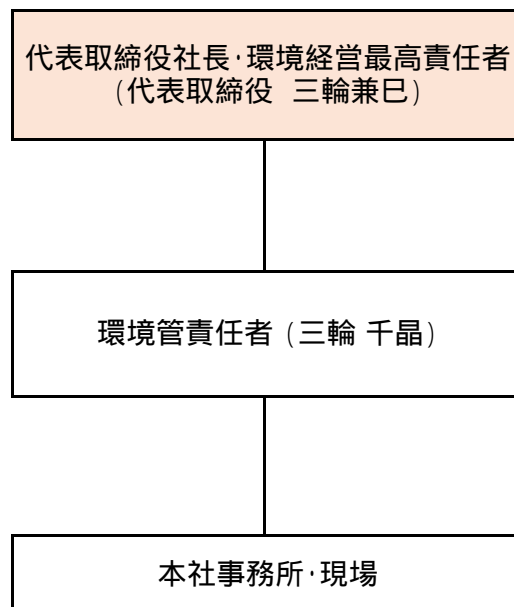
種別	年度	保有車両(台)	収集運搬量(t)
産業廃棄物	第30期(2023年度)	合計6台	16
		脱着装置付きコンテナ専用車 4台 ダンプ 2台	
一般廃棄物	第30期(2023年度)	合計6台	16
		脱着装置付きコンテナ専用車 4台 ダンプ 2台	

11. 対象範囲、対象期間

- (1) 対象範囲:全組織、全活動  
適用する事業所 本社事務所・施工現場  
適用構成員 当社役員、従業員(派遣社員、パート含む)
- (2) レポート対象期間:2023年10月1日から2024年9月30日

# . 実施体制

## 1. 推進組織



## 2. 役割分担

最高責任者(社長)	環境マネジメントを計画的に実施するための内容を確認、決定する。	
		管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。
		システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。
		基本理念・基本方針を制定し基本的な環境目標を設定する。
		システムの構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要あれば改定を指示する。
環境管理責任者	環境マネジメントシステムの推進・維持をする。	
		経営資源の合理的・効果的な運用を図り、環境経営に関する委員会組織(推進委員会)を運営する。
		最高責任者による見直しのための情報として、システムの構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局		環境管理責任者を全面的に補佐する。
各部門の責任者		環境目標の達成および実施項目の運用状況の把握など。

# 環境経営方針

## 株式会社美商環境経営方針

### 基本理念

株式会社美商は、創業以来、皆様の温かいご愛顧により発展してまいりました。ますます重要視される昨今の「環境影響の低減」についてニーズが多様化されるなか、当社は今まで培ってきた技術力と経験を基に、更なる高みをめざし「社会への貢献」という使命をもって積極的に施工技術の向上を図っていきたいと思います。

私たちを育ててくれた地域社会に感謝し、効率化を目指した環境配慮型の経営に努め、自然環境に優しい企業の在り方を率先して実現してまいります。

### 行動指針

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省エネルギー・省資源・リサイクルなどに配慮した活動・サービスを提供します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境保全が継続的に改善できるように推進します。
3. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守することはもとより、可能であれば、自主管理基準を設けて環境管理レベルの向上を図ります。
4. 環境経営を継続的に改善します。
5. 次の事項を重点的なテーマとして、環境経営目標を設定し、必要あれば目標を見直すなどの効果的な取り組みを行います。
  - (1) 「環境への負荷チェック」の結果、著しい項目に対して改善目標管理を行います。特に燃料使用
  - (2) 産業廃棄物については適正な処理を実施し、分別活動を徹底します。
  - (3) 電力、化学物質、水道の使用量については維持活動とし、異常値の発生を監視します。
  - (4) グリーン購入は安価で高品質な商品を導入するよう、情報収集を積極的に行います。
6. 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により、全ての構成員に環境経営方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
7. この環境経営方針は、社外の人にも公開します。

2017年(平成29年)2月 1 日制定

2020年(令和2年)10月1日改定

株式会社美商  
代表取締役三輪兼巳

# 環境経営目標

我が社は、業務内容の変化が大きいことから前年度実績を基準値とする「スライド方式」を採用しています。中長期の環境経営目標は以下の通りである。

N0	取組項目	単位	基準値	目標値			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
			2022年10月1日 ～ 2023年9月30日	2023年10月1日 ～ 2024年9月30日	2024年10月1日 ～ 2025年9月30日	2025年10月1日 ～ 2026年9月30日	
1	CO <sub>2</sub> 削減	kg-CO <sub>2</sub> /年	452,428	1%削減	2%削減	3%削減	
2	電力削減	kwh/年	23,597	1%削減	2%削減	3%削減	
3	ガソリン使用量	L/年	18,990	1%削減	2%削減	3%削減	
4	軽油使用量	L/年	152,396	1%削減	2%削減	3%削減	
5	産業廃棄物排出量(混合廃棄物)	t/年	105	1%削減	2%削減	3%削減	
6	一般廃棄物削減	t/年	1.63	1%削減	2%削減	3%削減	
7	総排水量削減	m <sup>3</sup> /年	節水に努めた	維持管理を実施する			
8	化学物質使用量 削減		適正に管理した	適正に管理する。(当社ではP R T R法に該当する物質を使用していない。今後新たな物質を導入する際にはSDSを取寄せて管理する。)			
9	グリーン購入比率向上		積極的に購入推進した	積極的に購入推進する。(当社ではコスト比較を行いながらグリーン購入法で定められた製品を積極的に購入する。数値目標を定めず、高品質で安価な物を購入する。)			
10	元請工事比率の増加	件/年	4	4	4	4	
11	解体工事における環境配慮		環境配慮に努めるた	解体工事において騒音，振動及び粉じんの発生を抑制するなど環境配慮に努める。			
12	産業廃棄物の適正処理及びリサイクル推進		適正処理及びリサイクル推進に努めた	解体工事において発生する産業廃棄物の適正処理及びリサイクル推進に努める。			

# 環境経営計画

取組期間: 2023年10月1日 ~ 2024年9月30日

環境経営計画	推進担当者	実施者	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<b>電気使用量</b>															
・使用していない機器の電源オフ	三輪	全社員	計画												
・不要な照明の消灯	三輪	全社員	計画												
・残業の抑制に繋げる作業効率化	三輪	全社員	計画												
<b>ガソリン・軽油使用量</b>															
・アイドリングストップの徹底	三輪	全社員	計画												
・重機のメンテナンス	三輪	全社員	計画												
<b>(一般・産業) 廃棄物</b>															
・分別方法の教育および遵守	三輪	全社員	計画												
・リサイクル率向上のための施策実施	三輪	全社員	計画												
・マニフェスト管理の徹底	三輪	全社員	計画												
<b>総排水量</b>															
・適正使用および維持管理	三輪	全社員	計画												
<b>化学物質使用量</b>															
・PRTR法該当物質の把握	三輪	全社員	計画												
<b>グリーン購入</b>															
・相見積の実施	三輪	全社員	計画												
<b>元請工事比率の増加</b>															
・各種資格の取得、6次重機の使用、3DCADの活用(ICT化)による解体の高度化	三輪	全社員	計画												
<b>解体工事における環境配慮</b>															
・騒音、振動(低公害型重機の使用)及び粉じん(散水)発生抑制	三輪	全社員	計画												
<b>産業廃棄物の適正処理及びリサイクル推進</b>															
・分別方法教育及び分別徹底	三輪	全社員	計画												
計画欄: 実施する															



# 活動期間の目標達成状況および評価(実績)

基準年に対する比較		基準年 第29期 (2022年度) 2022年10月1日 ～ 2023年9月30日	第30期 (2023年度) 2023年10月1日～2024年9月30日			
			削減率	目標値	実績値	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	452,428	1%削減	447,904	430,308	○
電気使用量	kwh/年	23,597	1%削減	23,361	17,496	○
ガソリン使用量	L/年	18,990	1%削減	18,800	22,599	×
軽油使用量	L/年	152,396	1%削減	150,872	143,589	○
産業廃棄物排出量 (混合廃棄物量)	t/年	105	1%削減	104	121	×
一般廃棄物排出量	t/年	1.63	1%削減	1.62	1.80	×
総排水量	m <sup>3</sup> /年	節水に努めた		維持管理の 実施する	維持管理を 実施した	○
化学物質使用量 削減		適正に管理した		適正に管理 する	適正に管理 した	○
グリーン購入		積極的に購入 推進した		積極的に購 入推進 する	積極的に購 入推進した	○
元請工事件数	件/年	4		4	3	×
解体工事における環境配 慮		環境配慮に努 めた		環境配慮に 努める	環境配慮に 努めた	○
産業廃棄物の適正処理及 びリサイクル推進		適正処理及び リサイクル推進 に努めた		適正処理及 びリサイクル 推進に努める	適正処理及 びリサイク ル推進に努 めた	○

## < 備考 >

1. 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)は、R1年度実績のR4.1.7環境省・経済産業省公表の中部電力(株)の調整後の排出係数である0.424(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用する。
2. PRTR法に定められている化学物質は使用していない。(AdBlue®を使用)
3. 評価 ○印:達成, 印:ほぼ達成, ×印:未達成

## 【総評】

### < 燃料油使用量 >

当社では重機を使用する特性上、燃料油(軽油)の使用量が大きな課題となっているが、「アイドリングストップ」の徹底を、エコアクションの活動における最重要課題と設定した。

遠方工事の受注が増えた為、ガソリン使用量は増加したが

今回、軽油の使用量に関しては目標達成の結果となり各社員の参加意識が高かった。加えて会社としてもAdBlue® 1搭載のeco重機、車両の導入を積極的に行い、期内に最新の重機への1機入替をし、環境問題に対し高い意識で取り組めた。引き続き取り組みを強化し、年度単位での削減目標を達成していきたい。

- 1 AdBlue®・・・AdBlue®の主成分は尿素。純水に高純度の工業用尿素を溶かして製造する無色・透明の尿素水溶液です。ディーゼル車に取り付けられた触媒内部にて排出ガスに対して噴霧され、大気汚染の原因とされている窒素酸化物を窒素と水に分解します。尿素SCRシステムは、増加するNOxに対してマフラー内で尿素を噴射することでNOxを窒素と水に分解でき、ディーゼル車のクリーン性能と燃焼効率向上の両立に成功しました。世界で最も厳しい基準をもつ、わが国の新長期規制はもちろん、予定されているポスト長期規制も見据えた次世代のシステムです。  
<http://www.n-eco.co.jp/adblue/about/index.html> より引用。

< 電気使用量 >

今年度は寒暖差も激しく、電気使用などは増加したが、各社員間の参加意識が高く効率的な節電対策は行動出来ていた。古いエアコンなどの入替の検討を勧めた。

【是正】仕事量の増加や猛暑の為、目標見直しと、対策として古いエアコンなどの入替を検討する。

< 一般廃棄物排出量 >

仕事量の増加、遠方の現場事務所稼働もあり関係資料が増えてしまった。

【是正】電子化の推進

< 廃棄物（混合廃棄物）排出量 >

目標値には達成できなかったが、分別困難な（建材）廃棄物は昨年と比べ分別出来ていた。合積みも混合と認識されてしまうため、極力選別しマニフェスト記入を取引処分場へお願いした。

【是正】仕事量の増加の為、目標値を見直しする事と分別解体への意識を協力（下請）会社にもより積極的に周知する。各部署へのマニフェスト記載指導の徹底。

< 総排水量 >

水道使用量については例年と同数値であり、使用方法も適正である。

< 化学物質 >

PRTR法に該当する成分を含む化学物質の使用はしていない。AdBlue®については適正に管理した。

< グリーン購入 >

相見積を徹底するなど、引き続き費用対効果の高い商品やサービスを導入する。

< 元請工事件数 >

件数は減ってしまったが工事単価が高かったため、売り上げ数字への意識達成が出来た。

# 環境経営計画の取組状況の評価と次年度の取組内容

取組期間：2023年10月1日～2024年9月30日

環境活動計画	推進担当者	実施者	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	次年度の取組
<b>電気使用量</b>																
・使用していない機器の電源オフ	三輪	全社員	実績													継続
・不要な照明の消灯	三輪	全社員	実績													継続
・残業の抑制に繋げる作業効率化	三輪	全社員	実績													継続
<b>ガソリン・軽油使用量</b>																
・アイドリングストップの徹底	三輪	全社員	実績													継続
・重機のメンテナンス	三輪	全社員	実績													継続
<b>(一般・産業) 廃棄物</b>																
・分別方法の教育および遵守	三輪	全社員	実績													継続
・リサイクル率向上のための施策実施	三輪	全社員	実績													継続
・マニフェスト管理の徹底	三輪	全社員	実績													継続
<b>総排水量</b>																
・適正使用および維持管理	三輪	全社員	実績													継続
<b>化学物質使用量</b>																
・PRTR法該当物質の把握	三輪	全社員	実績													継続
<b>グリーン購入</b>																
・相見積の実施	三輪	全社員	計画													継続
<b>元請工事比率の増加</b>																
・各種資格の取得、6次重機の使用、3DCADの活用(ICT化)による解体の高度化	三輪	全社員	計画													継続
<b>解体工事における環境配慮</b>																
・騒音、振動(低公害型重機の使用)及び粉じん(散水)発生の抑制	三輪	全社員	計画													継続
<b>産業廃棄物の適正処理及びリサイクル推進</b>																
・分別方法教育及び分別徹底	三輪	全社員	計画													継続
実績欄： 出来ている 改善されてきている 現状維持 × 悪化している																

# 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

## 1. 環境関連法規制の遵守・訴訟等の有無

- (1)環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、違反はない。  
(2)当社の利害関係者からの苦情、訴訟等も発生していない。

## 2. 当社が適用される主な環境関連法規制等

評価日:2024年10月1日

評価者:三輪 千晶

名称	当社の該当	要求事項	評価
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業 施工時の騒音注意	法の定める規制時間と規制音量の注意 近隣住民への事前挨拶など	対応および遵守済み
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業 施工時の振動注意	法の定める規制時間と規制音量の注意 近隣住民への事前挨拶など	対応および遵守済み
廃棄物処理法 廃棄物の処理および清掃に関する法律	排出:外部業者へ委託 運搬:適正処理の実施他	産廃業者等との委託契約書締結 廃棄物置場の適正保管(表示看板設置) マニフェストの発行・返却・保管 マニフェストの行政報告(年1回) 多量排出事業者の削減計画及び実績報告 収集運搬車のステッカーの表示 年1回以上の頻度で産廃業者の現地確認 廃棄物の適正処理 水銀廃棄物処理業者への委託 水銀廃棄物の適正保管	対応および遵守済み
吉田町一般廃棄物処理および清掃に関する条例	一般廃棄物の収集運搬および当社から排出の廃棄物	適正な廃棄物の処理 排出量の抑制	対応および遵守済み
牧之原市一般廃棄物処理および清掃に関する条例	一般廃棄物の収集運搬および当社から排出の廃棄物	適正な廃棄物の処理 排出量の抑制	対応および遵守済み
フロン排出抑制法	業務用エアコン、建設用重機	3ヶ月毎に自主点検の実施	対応および遵守済み
建設リサイクル法	当社の現場からの排出	廃材の分別および再資源化 廃材の分別および再資源化	対応および遵守済み
家電リサイクル法	洗濯機	廃棄時のリサイクル	今期該当無し
自動車リサイクル法	空調機、洗濯機、テレビ	廃棄時のリサイクル	今期該当無し
建設業法	当社の業務全般	建設業許可の取得 専任技術者、監理技術者の設置など 建設業許可の更新(5年間)	対応および遵守済み
グリーン購入法	購買品の一部で実施	安価で高品質な商品を積極的に導入する	対応および遵守済み

# 環境上の緊急事態への準備及び対応

当社の特定する環境上の緊急事態は火災とする。(1回/年の頻度で訓練およびテストを実施する)

## 代表者による全体評価と見直し

全体評価・見直し日：2024年10月12日

株式会社美商 代表取締役 三輪兼巳

1. ヒアリングチェック・内部監査の結果・法令順守  
エコアクション21の構築・運用状況は、おおむね良好である。
2. 苦情を含む利害関係者からの重要な情報  
苦情を含む利害関係者からの重要な情報はない。
3. 組織の環境パフォーマンス  
組織の環境パフォーマンスはおおむね良好。社員の環境への取組み状況は、パトロールチェックの結果より良好と判断。
4. 環境経営目標の達成  
環境経営目標の達成状況は仕事量の増加に伴い、電力、ガソリン、一般廃棄物ともに増加した為、一層の削減努力が必要。
5. 問題点の是正処置および予防処置の状況  
工事量の増加が予想されるためより、
6. 前回までの見直しの結果に対するフォローアップ  
本年度追加した元請件数は、目標が達成できなかった。引き続きフォローしていくことが必要。
7. 環境関連法規等を含む周囲の状況の変化  
環境関連法規等の制定・改正・廃止はない。周囲の状況変化も特にない。
8. 改善のための提案・その他  
燃費の悪い3次規制重機を低燃費の6次規制への変更。事務所の照明をLED化。

### 【見直し事項の有無】

項目	変更 有無	コメント
1. エコアクション21文書類	無	現段階では見直しをする必要はない。
2. 環境経営目標	無	現段階では見直しをする必要はない。
3. 環境経営計画	無	現段階では見直しをする必要はない。引き続いて、次年度以降も試行錯誤を図り効果的な施策を実施する
4. 実施体制	無	現段階では見直しをする必要はない。
5. 環境経営システム	無	各項目ともに良好に機能している。
6. その他	無	特になし。

### 【トップマネジメントによる確認・指示】

環境経営目標の達成は、コストダウンや業務レベルの向上につながるため、全社員が一丸になって、より一層の努力をするよう指示した。